

戦後日本の金融政策と景気循環との対応関係

金融引き締め政策		景気の山		金融緩和政策		景気の谷
1953.9	窓口規制の強化	1954.1			1954.11
1957.3	公定歩合の引き上げ					
5	再引き上げ	1957.6	後退→	1958.6	公定歩合の引き下げ	1958.6
				9	再引き下げ	
				59.2	再々引き下げ	
1961.7	公定歩合の引き上げ			1962.10	公定歩合の引き下げ	1962.10
9	再引き上げ	1961.12	後退→	11	再引き下げ	
				63.3	再々引き下げ	
				4	四度目の引き下げ	
1964.3	公定歩合の引き上げ	1964.10	後退→	1965.1	公定歩合の引き下げ	
				4	再引き下げ	
				6	再々引き下げ	1965.10
1967	金融引き締め	—				
1969.9	公定歩合の引き上げ	1970.7	後退→	1970.10	公定歩合▼6.25→6.00%	
				71.1	公定歩合▼5.75%	
				5	公定歩合▼5.50%	
				7	公定歩合▼5.25%	
				12	公定歩合▼4.75%	1971.12
				72.6	公定歩合▼4.25%	

出所: 山家悠紀夫『景気とは何だろうか』2005年、83頁。